

地震等の大規模災害の時は家族の一員である動物達と一緒に避難できるよう、今から準備しておきましょう！

明日来るかもしれない大災害に備えて ペットのために準備すべき、7つのPoint!

1 最低限のしつけが大切です

家族の一員として避難生活を一緒にするため、日頃から最低限の基本的な「しつけ」をしましょう。犬の場合は、飼い主の元に呼び戻しができる「オイデ」や危険を回避する「マテ」、人や他の動物を怖がったり、おやみに吠えたりしないよう、「良い子」にしましょう。

また、犬は、首輪・リードに慣れていますが(県条例で放し飼いが禁止)が、猫も可能であれば、首輪・リードに慣らしておきましょう。

排泄は、決められた場所で出来るようにしておきましょう。



2 所有者明示が大切です

マイクロチップは災害時でもはずれないので犬にも猫にもお勧めです。

また飼い主の氏名・住所・電話番号を書いた首輪・迷子札、犬であれば鑑札・狂犬病予防注射済票など身元がわかるものを必ず着けましょう。



3 ケージ等で過ごせるように慣らしておきましょう

避難所や仮設住宅に入った時、他人に迷惑をかけないために、普段からケージやキャリーバッグ等で大人しく過ごせるよう慣らしておきましょう。



4 健康管理を行いましょ

大切な動物が感染症・病気に罹らないように、日頃から犬も猫も定期的に各種ワクチン接種と健康診断を受けておきましょう。

また、動物の健康保持や行動面でのメリットを考え避妊・去勢手術を受けましょう。詳しくはかかりつけの動物病院にご相談ください。



5 動物用避難用品を確保しておきましょう

ペットフード・水(少なくとも5日分、できれば7日以上)・水・療法食(給餌している場合)・食器・リード・ケージ(扉のついたもの)・排泄物の処理用具(糞取り・袋・猫砂等)・ペットシート・予防注射の記録などの健康記録・常備薬等、いつでも持ち出せるように準備しておきましょう。



6 動物避難場所を確認・確保しましょう

避難経路を日頃の散歩コースに入れておきましょう。

また、緊急時に、親類・知人・動物病院など、動物を一時的でも預かってもらえる場所を確保しておくことで安心です。



7 ペットの輪を広げましょう

ペットと飼い主、地域との日頃のコミュニケーションが大切です。町内でお散歩仲間を積極的に作りましょう。仙台市避難所運営マニュアルの中には「ペット連れ避難者への対応」が明記されております。防災訓練へも可能であればペットを連れて参加しましょう。

また避難所は地域の方々が発行し利用する場です。飼っている人も飼っていない人も、みんなで乗り切る環境づくりに努めましょう。



いざ、何かが起こってからではなく、何も無い今だからこそ、皆様のご家族に合った防災マニュアルを作ってみてはいかがでしょうか。NPO法人エーキューブ、アニパル仙台(仙台市動物管理センター)では、各種ご相談に応じます。

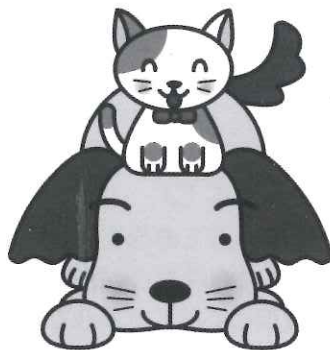
一緒に乗り切ろうとするときには、人も動物もがんばれると思います。

アニパル仙台 (仙台市動物管理センター)

NPO法人 エーキューブ
〒983-0034 仙台市宮城野区扇町6-3-3
TEL 258-1626 FAX 258-1815



ペットの特徴が良く解る
写真を貼りましょう



ペット情報カード

お願い

飼い主が傍らにいない時には
動物を安全な場所に避難させてください
このカードとペット用避難袋も
一緒をお願いします
大切な家族です
ご協力をお願いします

年 月 日作成

NPO法人エーキューブ・アニマル仙台

動物の名前	種類	不妊去勢 済・未	
マイクロチップ登録No.		鑑札登録番号(犬)	
年齢 年 月 日	歳 生まれ	性別 ♂・♀	体重 kg
狂犬病予防注射接種日(犬) 年 月 日		混合ワクチンの時期・種類 年 月 日 種混合ワクチン	
性格・性質		フィラリア予防 月から 月まで 陰性・陽性	
身体の特徴			
現在の病気・怪我・薬・処方食等			
飼い主の名前		自宅電話番号	
住所		携帯電話番号	
		災害時連絡先	

※災害時にペットを動物救護所等に預ける時に必要な情報カードです。
予備を準備して家族で携帯しましょう。